

第7年度活動報告会

開催趣旨:

レアアースは最先端のハイテク製品や低環境負荷技術に必須の元素群であり、その安定的な確保は日本にとって極めて重要な課題です。日本の排他的経済水域である南鳥島周辺海域にレアアースを高濃度で含むレアアース泥が分布することが確認され、その開発に向けて期待が高まっています。

東京大学では、産学官のメンバーが連携してレアアース泥の開発技術を確立することで、レアアースの安定供給に貢献するとともに、レアアースの新たな需要開拓を通じて日本の産業を活性化することを目指します。

この目的のため、2014年11月に「レアアース泥開発推進コンソーシアム」を設立しました。本コンソーシアムでは、資源量探査や環境モニタリング、深海からの採泥および揚泥、選鉱・製錬、残泥処理、新素材などに係る技術を各部会において検討するとともに、それらの成果を踏まえたレアアース泥開発システムの全体最適解を検討しています。

今回の活動報告会では1年間の活動を報告するとともに日本発のレアアース泥開発の将来について説明いたします。

日時: 2021年12月3日(金) 14:00~17:30

形式: 東京大学 オンライン講演会(入場無料 事前申込制)

参加費: 無料

申込締切: 12月1日(水)

申込&問合せ先: 東京大学産学協創推進本部

申込先

<https://forms.gle/7rfouUkDKsSfvmC48>

HP URL:

<http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/activity/research/consortium/rare-conso/index.html>

主なプログラム内容:

招待講演	新藤 義孝 (元総務大臣・衆議院議員、自民党成政調会長代理)
特別講演	小林 和昭 (経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 鉱物資源課長)
全体報告	加藤 泰浩 (東京大学 大学院工学系研究科 副研究科長 教授)
部会1: 探査・モニタリング・環境	中村 謙太郎 (東京大学 大学院工学系研究科 准教授)
部会2: 採泥・揚泥	高木 周 (東京大学 大学院工学系研究科 教授)
部会3: 選鉱・製錬	高谷 雄太郎 (東京大学 大学院工学系研究科 准教授)
部会4: 泥処理	北詰 昌樹 (東京工業大学 環境・社会理工学院 教授)
部会5: 新素材	長谷川 美貴 (青山学院大学 理工学部 化学・生命科学科 教授)
今後の進め方	加藤 泰浩 (東京大学 大学院工学系研究科 副研究科長 教授)

以上、是非とも皆様お誘い合わせの上ご参加ください。